

水産物



長崎県（有）橋口水産 『養殖魚（ブリ・ヒラマサ・クロマグロ）を世界へ』

【主な品目】

ブリ・ヒラマサ・クロマグロ

【主な輸出先国・地域】

米国、中国、中東、韓国

【輸出取組の概要】

- ◆ 関係事業者と連携し、現地市場調査及びブリの試験輸出を開始。
- ◆ HACCP(米国)に対応した工場を新設し、EUの認証を取得。
- ◆ FDA(米国食品医薬品局)のグリーンリストに登録。

【輸出実績】（平成28年度より試験輸出開始）

	輸出量(本)	出荷時期
平成30年度	39,600	4～3月
平成29年度	4,400	4～3月
平成28年度	5,000	8～3月

【効果があった取組】

現地バイヤーとの関係づくり
及びバイヤーを通じた営業。

【輸出後に抱えた課題】

- 1 生、チルドフィレ商品の輸出を可能にするため、FDAグリーンリストのステータスを申請。
- 2 新たな販路の開拓のためのターゲットの絞り込み。
- 3 EU出荷における認証登録の必要性。
- 4 輸送中の温度管理。

【生じた課題への対応】

- 1 FDAグリーンリストのステータス取得(2018年12月)。
- 2 海外向けバイヤーが参加する国内の商談会に出展。
- 3 EU HACCPへの登録申請。
- 4 TTIを貼付し、製品着後の状態を確認。夏場などは状況に応じて保冷剤の数や冷やし込みの時間の調整によって温度を管理。輸送中の製品の保管管理を行った。



商談会の様子

【対応の結果】

- 1 米国向けの輸出許可取得及び検疫許可の免除により輸出手続きが簡易になった。
- 2 従来の輸出先(国)以外との商談を実施し、ロジスティクスや温度管理の課題を発見できた。
- 3 EU HACCP施設登録完了及び認証リストにおけるブリフィレ・ドレスの認証取得(加工品は申請中)。
- 4 商品規格を保持した品質管理が容易になった。

【今後の課題・展望】

- 1 グリーンリスト取得により新たな販路拡大のため、各種商談会での積極的なPR活動。
- 2 輸出国に応じた品質管理及び輸出手続きの体系化。
- 3 EU HACCP認証リストへの二次加工品の登録。
- 4 多様な加工形態での輸出の増加。



【活用した支援・施策】 6次産業化ネットワーク活動整備交付金

【ウェブサイト】 <https://hashiguchi2466.jimdo.com/>

【連絡先】 担当者名: 橋口直正、TEL: 095-865-6066

橋口水産ブランドの「極上寒ブリ」